

わきみず

平成27年3月16日発行



公益社団法人
清水町シルバー人材センター
静岡県駿東郡清水町堂庭221-1
TEL 055-973-5949
FAX 055-973-6035



自主

自分たちの力で育てる心

自立

最後まで責任をもってやる気持ち

共働

一緒になって働く協調性

共助

お互いに助け合うやさしさ

会員募集中

60歳以上で、健康で働く意欲があり、積極的に社会参加を希望されている方をご存知でしたら、ぜひご紹介ください。

会員の声

発注者の声

シルバー人材センターの

会員となつて

小松 博美

友人に強く勧められ、三年前の夏センターに入会しました。今は公共施設での清掃が私の仕事です。広い建物のため慣れるまでの数か月は疲れがひどく、このまま続けられるだろうか、不安を抱いたこともありましたが。

でも、就業先の方や来所された方々から、「無理をしないでね」とか、「いつも「苦労様」などと言葉をかけて頂くと「少しでも気持ちよく利用して頂けるよう頑張ろう」とモップを持つ手にも自然と力が入ります。

他の会員の方と知り合える研修旅行も楽しみの一つです。一昨年の両国国技館での大相撲観戦は、テレビで見慣れた力士さんたちに大興奮、忘れられない思い出となりました。バスで同席だったKさんとは、昨年

も一緒に浜松への研修旅行を楽しみました。

これからも、明るい挨拶、元気な返事、笑顔を忘れずシルバーの一員として信頼される仕事をしていきたいと思っております。働ける喜び、その場所と機会を与えて下さったシルバー人材センターに感謝です！

今後もセンターの活動が益々発展し、仲間の活躍の場が広がることを願っております。

私の体験

下山 房恵

会社を辞めてその時知ったのが、清水町シルバー人材センターという団体でした。

実は、私には関係のない場所だと思っていました。温水プールでの体操教室で、センターの事務局の方に声を掛けられ入会し、それから十五年、今でもシルバー人材センターのお世話になっています。とても不思議な縁だと思います。

センターから依頼された仕事は、今まで経験したことのない仕事ばかりでした。昼食の配膳、お弁当屋の通箱の洗い物、町内全域の草取り、

幼稚園や保育園の清掃など様々な仕事をさせて頂きました。この十五年、

辛い嫌だと思ったことも少なく、たくさんの仲間にも恵まれながら作業をしております。

また、草取りの班長や、シルバー人材センターの理事も経験し、多くの事を勉強させて頂きました。八十歳になる私ですが、今では私の人生に欠かせない団体となっております。

発注者の声 (徳倉地内)

夏の暑い時期、人寄せがあるため草取り作業をお願いしました。毎年、シルバー人材センターの皆様にはお世話になっております。

働いている方たちは真面目に手際よく作業してくれ、大変助かっております。シルバーの会員の皆様より若い私でも、外で草取りをするには半日ともたないのに、一日中、汗をかきながらも元気で素敵な笑顔を見せる姿を見て、将来、私もああなりたいなと感じました。いつまでも、元気な笑顔を見せてくれることを楽しみにしています。何卒、お体に気を付け頑張ってください。

法人賛助会員の皆様のご紹介

シルバー人材センター事業の趣旨及び目的に賛同していただき、常日頃からシルバー人材センター事業の発展・拡大のためにご支援、ご協力をいただいている法人の皆様方

- ・株式会社テクノスジャパン (徳倉)
- ・株式会社富士興産 (長沢)
- ・株式会社山中兵右衛門商店 (卸団地)
- ・優伸運輸株式会社 (卸団地)

アイウエオ順敬称略

編集後記

気がつけば桜の蕾も膨らみ始める頃となりました。昨秋より準備を進めてきました会報『わきみず』第一号を、今日会員の皆様にお届けできますことを広報部としてとてもうれしく思います。

ゼロからの起ち上げでしたので、皆様に喜んでいただける広報ができたのか不安もありますが、第二号・第三号の発行、そして全戸配布をめざしてより良い会報づくりに努めていきたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。最後になりましたが、お忙しい中、ここまで原稿・写真を提供してくださった方々、ほんとうにありがとうございます。

広報部一同

会報発刊に よ せて



理事長
古川 康 男

平素は、当センターの事業運営につきましても格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて今回は、当センターの発足以来の課題になっていました「会報の発刊」について、ネーミング「わきみず」で産声を上げる運びとなりました。まずは発刊にご尽力をいただきました広報メンバーの方々へ厚く感謝を申し上げます。会報を手にとることにより会員としての意識が高まり、連帯感が高揚し、シルバー人材センター事業への参画意識が一層増してくるものと期待しているところです。

平成二十七年三月に入り、上場企業の決算期を迎えています。大企業を中心に純利益で二年連続の過去最

高益を更新する公表も出ています。一方、小売りやサービスの中小企業では、消費税の増額による消費の減退で減益計上となり、景気の動向は回復面に至っていません。当センターの二十六年年度の契約金額は、二月現在昨年並みの同額を維持する見通しです。当年度の重点課題①会員の増強、②就業機会の拡大、③安全作業の優先を基軸にして更に努力をしていかねばなりません。

現在、国会で閣議決定された二十七年年度の国家予算の審議が行われています。九十六兆三千億と過去最大の数字になっていますが、少子・高齢化社会に使う費用として三十一兆五千億円の社会保障費が充

更に高齢化・少子化社会は進む方向にあり、今後の年金・医療を中心とした社会保障費の抑制に踏み込む必要性が示されています。

その上、少子化による労働生産力の減少が危惧され、今のままで進むと年間百万人規模で労働者の数が減少していくと予測されています。少子・高齢化は日本の社会にとって負の財産になりかねません。

厚生労働省ではこうした時代背景のもとに、シルバー事業の有効活用を求め、今までに適正事業として認めていない派遣事業への支援を認め、補助金の増額が予定されています。

シルバー人材センターの掲げる基本理念「自主・自立・共働・共助」は変わりませんが、社会的役割は時代と共に変化しています。高齢者が「働らき手」として、社会的活動をすることが義務的な印象がなきにしてもありませんが、自分の生きがい、地域が必要とするもの、社会が求めるものを、会員の皆様と知恵を出し合い取り組んでまいりたいと思います。

活 動 寫 真



交通安全防犯講習
平成27年11月29日



平成26年度定時総会
平成26年6月16日



研修旅行
平成26年9月25日



新年会
平成27年1月29日



H26シニアワークプログラム
平成26年9月22日～10月17日



安全パトロール
平成27年2月3日



ちよっといっぱく
駐車場管理

シルバー派遣事業始まりました

シルバー派遣事業とは、シルバー会員が派遣労働者として、「臨時的または短期的で軽易な業務」の範囲内で、派遣先である企業などの指揮命令によって働きます。シルバー派遣事業により、専門的な知識、経験などが求められる仕事や、「請負・委任」ではできなかった派遣先の社員と共同で働くこともできるようになります。

なお、派遣労働者になるには、センター会員で派遣事業での就業を希望する旨の登録が必要です。詳しくはセンター事務所までお問い合わせ下さい。

